

松江保健生協 2023年度のまとめ（案）

（はじめに）

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症分類が2類から5類に引き下げられましたが、感染者数の増減が繰り返されるたびに、事業や運動に影響を及ぼしました。

平和、改憲の動き、根幹が揺るぎ始めた民主主義、社会保障の弱体化、気候変動、物価高騰など私たちの身近に迫る問題は枚挙にいとまがありません。

同時に、松江保健生協が抱える経営的な課題についても楽観が許されません。多くの事業所で患者、利用者減が続き、1億2千万円を超えるマイナス経常剰余（赤字）となりました。持続可能な事業運営に転換を図るなかで幸町福祉センターと介護医療院虹の通所リハビリを閉鎖しました。

一方で、健康チャレンジやサロンへの参加など本来の医療生協運動が再開され、健康づくり、つながりづくりで大きな成果を残すことができました。こうした組合員活動の「地域まるごと健康づくり」の広がり、事業と運動の推進力になると同時に、新班結成や復活班の誕生、担い手づくりなどに繋がりました。

1、健康づくり、つながりづくり、仲間づくり

- ① 第2期「あったかまちづくりビジョン」をすすめ、支部を元気に、地域を元気に「誰もが健康で居心地よくらせるまちづくり」に向け、“楽しい”を大事にして取り組みました。生協強化月間、年度末月間あわせ支部企画は146回、2,943人参加（昨年比138%）となり、新たなつながりが広がりました。グラウンドゴルフ、ウォーキング、登山、お出かけ交流会、寄せ植えなど様々な企画が実施され、地域の健康づくり、つながりづくりが活発になりました。
特に「ありがとうキャンペーン」では、新規244人、だんだん出資94人の加入につながりました。
- ② 「担い手ふやし月間」に取り組み、前年度を上回る27人の運営委員が誕生しました。新しい運営委員が、新たな人を誘って、更なる担い手づくりにつながりました。
- ③ すこしおの取り組みとして、健康づくり委員会を中心に、組合員考案の「すこしおレシピ」や、尿塩分チェックを新たにキャンペーンとして加え、生活習慣を見直すきっかけづくりにつながりました。
- ④ 健康チャレンジは18年目を迎え、10,887人が参加しました。仲間でチャレンジも832グループ、3,259人の参加があり、6つの新班誕生と2つの班復活につながりました。
- ⑤ 秋の生協強化月間では、生協病院グループ、虹グループ、東出雲診療所グループが久しぶりに祭りを開催し、組合員、職員、地域の人々とつながりを深めることができました。

2、居場所づくり、支え合い、居心地よくくらせるまちづくり

- ① サロンは新たに4支部で始まり、過去最高の19支部、20サロンとなり、延べ96回開催で1,683人の参加となりました。「インナースキャン」「すこしお料理」「脳トレ」など楽しいを大事にする企画に加え、医師や医療スタッフが参加する健康講座など多彩なサロンが増えています。
- ② フードバンクしまね「あったか元気便」は、対象学校が20校に拡大し、延べ2,075世帯、ご家族延べ7,559人の食料品をお届けしました。フードドライブは虹グループでも取り組まれ活動が拡大しました。（前年17校、1,737世帯、家族6,157人）なないろ食堂は12回開催、163人の子どもたちが参加、軽食持ち帰り付き寺子屋（学習支援）は9回開催、86人の参加となりました。
- ③ 「おたがいさま支えあい基金」は、108万円の募金のご協力を頂き2017年からの累計は889万円となりました。「無料低額診療事業」への支援には104万円、「その人らしくを支える支援」には16件、4万円を支援しました。（※24年3月末時点）

3、組織と事業を支える活動

- ① 事業所ではクラスター発生や職員の感染拡大があり職員は多忙を極めましたが、コロナ陽性患者の入院や入所受け入れ、発熱外来の実施、増加する救急搬入（前年比109%）、ワクチン接種など地域の要求に応えながら事業を継続しました。
- ② 入院・入所、通所サービスのコロナ拡大に伴う受け入れ制限、外来、通所の患者減、高齢者住宅の空き室増加などにより、収益予算を6億7,342万円下回りました（予算比92.2%）。経常剰余は▲1億2,046万円となり年度予算を大きく下回りました（予算差2億6,149万円）。※詳細は総代会の23年度事業報告書にて
- ③ 23年度末をもって幸町福祉センターと通所リハビリ（デイケア）を閉鎖しました。
- ④ 組合員増やしでは1,014人（目標1,500人）、出資金増やしでは1億9,966万円（目標2億5千万円）、出資金の純増は334万円となりました。

4、生協の役割と社会的価値、平和で公正な社会づくり

- ① SDGsの取り組みとして、本庄支部の中海海岸清掃、「里山から未来を考えよう」「南極観測隊の経験から地球温暖化について」の学習会実施、乃木第一、城北、古志原、八雲西、千酌支部、東出雲ブロック等でのフードバンク応援バザー開催など環境問題を考え、暮らしを支援する活動が広がりました。
- ② 平和・憲法問題、社会保障充実などの取り組みでは、「憲法改悪を許さない」署名2,968筆、「保険で良い歯科医療を」署名2,212筆、「介護保険制度の改善と介護職員の確保」署名1,232筆が集まりました。第35回「戦争体験を語り継ぐ集い」は100人の参加があり、新たに島根大学学生など若い世代とのつながりも生まれました。